

令和8年度 総合型選抜A日程 小論文(リハビリテーション学科理学療法学専攻)

【出題の意図】

本問題は、本専攻のアドミッション・ポリシーを正しく理解した上で、自身のこれまでの経験や資質を客観的に捉え、将来の理学療法士としての適性を論理的に記述できるかを問うものである。特に、理学療法士に求められる「他者理解」「協働性」「主体的な学び」「社会貢献意識」といった資質を、自身の具体的経験と結び付けて説明する力を評価する。

【評価の観点】

① アドミッション・ポリシーの理解と自己の合致

アドミッション・ポリシーを踏まえ、自身の経験や資質と関連付けて記述できているか。

② 専門職への意欲と主体的な学び

理学療法士として必要な知識・技能の修得に向けて、主体的に学び続ける姿勢や、社会貢献に対する意欲が具体的に示されているか。

③ 具体性・説得力

経験や行動が具体的に述べられており、内容に説得力があるか。

④ 論理構成・表現力

構成が整い、簡潔かつ論理的に記述されているか。

⑤ 医療専門職としての視点

他者理解、協働、コミュニケーション、多職種連携などの視点が含まれているか。

⑥ 文字数・形式

400字以内で適切に記述されているか(9割以上)。誤字脱字がなく、文法や語句の使い方が適切であるか。

【キーワード】

解答を構成する上で重要となる視点。

- ・ 関心・意欲：理学療法学、心身の健康、専門知識・技能の修得。
- ・ 他者理解・協働：信頼関係、コミュニケーション、チーム医療、多職種連携、寄り添う姿勢。
- ・ 自己研鑽：自身の成長、努力、学習習慣、主体的学び。
- ・ 社会貢献：理学療法士としての責任、地域社会、リハビリテーション。